

探究型授業の推進に向けての教員研修

10月3日（火）にSSH戦略室i-ALプロジェクトチームが、「探究の一宮」の探究型授業の共通理解に向けて「探究型授業を推進するために」というテーマで教員研修を実施しました。

教員研修のめあては、「「探究の過程」を取り入れ、「探究型授業」にチャレンジする教員集団になろう。」です。最初に本校指導教諭によって岡山一宮高校探究の6段階(Stairs MODEL)について発表が行われ、これを踏まえる形で教科別でのグループ協議や教科横断でのグループ協議などを行いました。研修の流れは下記に示す通りです。この教員研修には外部（玉島高校、倉敷天城高校、岡山理科大学の教員と学生）からも大勢の方が参加されました。

【研修の流れ】



教科別でのグループ協議では、まず個人で「年間指導計画」から「探究の課程01～06（図1）」を取り入れることができそうな単元について考え、「探究計画案（仮称）」を作成しました。次に、各自で考えた「探究計画案（仮称）」について協議を行いました。教科を横断したグループでの協議では、まず個人で「年間指導計画」から他教科と教科を横断した授業が可能だと思われる単元について考えました。次に、個人で考えたことについてグループで協議を行いました。

【参加した教員の感想】

- 「数学と理科」、「国語と英語」は親和性が高いと感じた。
- 1人で考えるよりもグループで考えることで教科横断のハードルが下がったように思った。
- 失敗してもいいのでまずはやってみようと思った。

